

小田原の豊かな地域資源を生かした、
まちのにぎわいと回遊性の向上
事後評価書

おだわらし
小田原市

平成29年5月1日

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成29年5月1日

計画の名称	小田原の豊かな地域資源を生かした、まちのにぎわいと回遊性の向上																																
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度 (5年間)					交付対象	小田原市																										
計画の目標	計画地域一帯は、城下町としての豊かな歴史と文化を背景に、小田原駅という近代交通の要衝を擁し、社会経済や観光の一大拠点として栄えてきました。しかし、近年は、中心市街地の空洞化等の課題を抱え、まちのにぎわいにも影響しています。地域の活性化には、これまでも様々な取り組みしてきましたが、本計画により、地域の豊富な長所を生かしつつ、中心市街地の都市機能の充実を図ることで、より多くの人々が訪れ、回遊し、魅力の感じられるまちづくりを目標とするものです。																																
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 計画地域一帯に所在する関係観光施設の入込観光客数の増加 中心市街地の流動客数の増加 小田原駅の乗車人員数の増加 																																
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H23当初)</th> <th>中間目標値 (H25末)</th> <th>最終目標値 (H27末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「神奈川県入込観光客数調査」において計測される、各関係観光施設 (小田原城址公園ほか) の年間入場者数の合計値</td> <td>2,487,456人/年 (平成21年度実績)</td> <td>—</td> <td>2,585,034人/年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>「小田原市主要商店街流動客数調査」において計測される、小田原駅周辺各商店街の流動客数の合計値</td> <td>187,033人/日 (平成21年度実績)</td> <td>—</td> <td>199,858人/日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>「神奈川県勢要覧」において公表される、小田原駅の乗車人員数 (年間数値を1日当たりに換算)</td> <td>96,313人/日 (平成20年度実績)</td> <td>—</td> <td>97,085人/日</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	「神奈川県入込観光客数調査」において計測される、各関係観光施設 (小田原城址公園ほか) の年間入場者数の合計値	2,487,456人/年 (平成21年度実績)	—	2,585,034人/年		「小田原市主要商店街流動客数調査」において計測される、小田原駅周辺各商店街の流動客数の合計値	187,033人/日 (平成21年度実績)	—	199,858人/日		「神奈川県勢要覧」において公表される、小田原駅の乗車人員数 (年間数値を1日当たりに換算)	96,313人/日 (平成20年度実績)	—	97,085人/日	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																													
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)																														
「神奈川県入込観光客数調査」において計測される、各関係観光施設 (小田原城址公園ほか) の年間入場者数の合計値	2,487,456人/年 (平成21年度実績)	—	2,585,034人/年																														
「小田原市主要商店街流動客数調査」において計測される、小田原駅周辺各商店街の流動客数の合計値	187,033人/日 (平成21年度実績)	—	199,858人/日																														
「神奈川県勢要覧」において公表される、小田原駅の乗車人員数 (年間数値を1日当たりに換算)	96,313人/日 (平成20年度実績)	—	97,085人/日																														
全体事業費	合計 (A+B+C)	4,525 百万円	A	3,104 百万円	B	1,399 百万円	C	22 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.5 %																							
事後評価 (中間評価)																																	
○事後評価 (中間評価) の実施体制、実施時期																																	
事後評価 (中間評価) の実施体制					事後評価 (中間評価) の実施時期																												
平成27年度末時点の情報について「神奈川県入込観光客数調査」、「小田原市主要商店街流動客数調査」、「神奈川県勢要覧」より該当数値を参照し積算した					平成29年5月 公表の方法 市ホームページへの公表																												
1. 交付対象事業の進捗状況																																	
交付対象事業																																	
A 基幹事業																																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考																		
1-A-1	再開発	一般	小田原市	直接 間接	小田原市、民間企業	小田原駅周辺地区暮らし・にぎわい再生事業	商業・業務、公共・公益、駐車場施設等—1.1ha	小田原市	H23	H24	H25	H26	H27	3,104	別添1																		
合計													3,104																				
B 関連社会資本整備事業																																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考																		
1-B-1	道路	一般	小田原市	直接	小田原市	お城通り緑化歩道整備事業	緑化歩道整備 幅員2.5m 延長250m 歩行者滞留部 幅員7～9m	小田原市						1,275																			
1-B-2	道路	一般	小田原市	直接	小田原市	駐車場施設整備に伴う道路整備事業	用地買収 約84㎡ 道路整備 幅員約9m 延長 約160m	小田原市						124																			
合計													1,399																				
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考																						
1-B-1	小田原駅と小田原城址とを結ぶお城通りに、緑化歩道を整備し、安全で快適な歩行空間を確保し、中心市街地の回遊性の向上を図るとともに、歴史的景観の中になぎわいのある中心市街地の形成を図る。																																
1-B-2	駐車場施設 (暮らし・にぎわい再生事業) に隣接する道路を整備し、周辺道路における駐車場施設入庫待ち車両による渋滞発生を防ぎ、交差点改良によって歩行者の安全性を確保するとともに、中心市街地の回遊性の向上を図る。																																

C 効果促進事業										全体事業費 (百万円)	備考				
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)						
									H23			H24	H25	H26	H27
1-C-1	施設整備	一般	小田原市	直接	小田原市	清閑亭保存整備活用事業	歴史的な建造物の改修。庭園や周辺環境などの一体的な整備及び活動支援	小田原市						5.0	
1-C-2	施設整備	一般	小田原市	直接	小田原市	松永記念館整備活用事業	施設内の老舗荘・葉雨庵など歴史的な建造物の改修。庭園や周辺環境などの一体的な整備	小田原市						6.9	
1-C-3	施設整備	一般	小田原市	直接	小田原市	情報案内板設置事業	情報案内板を設置	小田原市						3.9	
1-C-4	施設整備	一般	小田原市	直接	小田原市	案内サイン新設・改修事業	地下街施設への案内サインの新設及び既存案内サインの改修	小田原市						6.7	
合計											22				

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	歴史的建造物を観光施設として改修、庭園などと一体的に整備することにより観光客や地域住民の交流の場としてだけでなく観光情報の発信や文化伝統を紹介し、交流人口の拡大につなげる。	
1-C-2	歴史的建造物を観光施設として改修、庭園などと一体的に整備することにより観光客や地域住民の交流の場としてだけでなく観光情報の発信や文化伝統を紹介し、交流人口の拡大につなげる。	
1-C-3	主要な歩行導線となる箇所、地域内に点在する歴史・文化的遺産や、観光資源、公共施設などの情報を案内し、来訪者の利便性と交流・回遊性の向上を図る。	
1-C-4	中心市街地の回遊拠点となる地下街施設に、誘客、誘導するための案内板を設置し、来訪者の利便性と交流・回遊性の向上を図る。	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する	指標①関連：関係観光施設の入込み客数調査において、改修に伴い天守閣が長期休館となった小田原城址公園を除く、小田原文学館、なりわい交流館、松永記念館の全ての関係施設の入込客数は増加（H21合計：56,887人→H27：69,224人）しており、地下街施設で整備した観光案内機能や各施設インフォメーション機能等により、観光施設への誘導効果が図られている。
交付対象事業の効果の発現状況	指標②関連：主要商店街流動客調査において、地下街施設整備の事業効果により、地下通路の流動客数は1万人以上増加（H21：1,544人/日、H27：11,643人/日）するとともに、地下街から街なかへの動線となる駅前通りの調査地点では平成21年度時点より約2,500人以上流動客数が増加（H21：9,031人/日、H27：11,638人/日）し、市民交流センターUMECO整備の事業効果により、駅から市民交流センターUMECOへの動線となるお城通りについて平成21年度時点より約700人流動客数が増加（H21：6,092人/日、H27：6,884人/日）しており、まちなかへの回遊性にぎわいが向上した。
	指標③関連：小田原駅の乗降客数流動客調査において、箱根山噴火の影響を除く乗降客数は平成20年度と比べ1,000人/日以上増加（H20：84,930人/日→H27:85,946人/日）しており、基幹事業 地下街施設及び市民交流センターUMECOの整備をはじめとする事業効果により、駅乗降客数が増加し、地区内のぎわいが向上した。

II 定量的指標の達成状況	指標①（「神奈川県入込観光客数調査」において計測される、各関係観光施設（小田原城址公園ほか）の年間入場者数の合計値）	最終目標値	2,585,034人/年	目標値と実績値 に差が出た要因	平成27年7月より、観光客数調査における計測対象施設の中で最も大きな入込客数の割合を占める小田原城址公園が、園内天守閣の改修に伴う長期休館の影響を受け、前年比で40万人以上も入込客数が減少したことが目標値と実績値に差が出た要因となったが、その特殊な要因を除き、その他の周辺施設全てについては、平成21年度時点の入込客数を上回る結果となっており、目標は達成している。 ※参考※H26（天守閣休館前、地下街供用開始後）の実績値は2,605,475人/年であり、目標値を達成している。
		最終実績値	2,212,151人/年		
	指標②（「小田原市主要商店街流動客数調査」において計測される、小田原駅周辺各商店街の流動客数の合計値）	最終目標値	199,858人/日	目標値と実績値 に差が出た要因	流動客数については、箱根火山噴火等の影響もある中、特に駅周辺の客数が減少しており、目標値の達成には至らなかった。 しかしながら、基幹事業に係る動線の流動客数については、地下街施設の供用開始により、地下通路で1万人以上増加（H21：1,544人/日、H27：11,643人/日）するとともに、地下街から街なかへの動線となる駅前通りの調査地点では平成21年度時点より約2,500人以上増加（H21：9,031人/日、H27：11,638人/日）し、駅から市民交流センターUMECOへの動線となるお城通りについて平成21年度時点より約700人増加（H21：6,092人/日、H27：6,884人/日）しており、着実にまちなかへの回遊効果は生じている。
		最終実績値	174,701人/日		
	指標③（「神奈川県勢要覧」において公表される、小田原駅の乗車人員数（年間数値を1日当たり換算））	最終目標値	97,085人/日	目標値と実績値 に差が出た要因	平成27年度については、箱根火山噴火の影響により一部の路線において大きく乗降客数が減少したことで、目標値と実績値に差が出たものだが、箱根火山の影響を除く乗降客数は平成21年度と比べ1,000人/日以上増加（箱根山の影響を除く乗降客数 H20：84,930人/日、H27:85,946人/日）しており、特殊な要因を除き、目標は達成している。 ※参考※平成26年度（箱根火山噴火前、地下街供用開始後）の実績値は97,716人/日であり、目標値を達成している。
		最終実績値	95,404人/日		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	
--	--

3. 特記事項（今後の方針等）	
-----------------	--

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	小田原の豊かな地域資源を生かした、まちのにぎわいと回遊性の向上	
計画の期間	平成23年度 ~ 平成27年度 (5年間)	交付対象 小田原市

